

「心に残る文化財 子ども塾」学習指導案

日 時 令和6年 6月 17日
 場 所 飯南町立 頓原小学校
 対 象 6 年 生 (10名)
 指導者 頓原小学校担任 1名
 埋蔵文化調査センター2名

- 1 主 題 古代の飯南町の歴史を学ぼう ～どんぐりハンバーグづくりに挑戦～
 2 ねらい ○飯南町の遺跡について知ったり、実際に出土した土器などを見たりすることを通して、歴史学習への興味関心を高めるとともに、地域への愛着の気持ちを育てる。
 ○どんぐりハンバーグづくりを体験することで、縄文の人々の生活の一端を知る。

3 展 開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	
9:30 (5分)	1 今日の学習の流れを知る。	・講師紹介 ・学習の内容やねらいを説明する。	担任 埋文職員
9:35 (35分)	2 縄文の頃の飯南町の歴史を学ぶ。	・地域に残る遺跡について伝え、縄文時代への興味関心を高める。	埋文職員
10:10 (10分)	3 縄文時代の生活について知る。 [休憩]	・今でも身近にあるものが食材として用いられていたことを知らせ、どんぐりハンバーグづくりへの意欲を高める。	埋文職員
10:40 (35分)	4 どんぐりハンバーグづくりに挑戦する。 ・説明を聞く ・調理 ・試食	・3グループに分かれて調理をする。 ・手洗い・手袋の着用等、衛生面に配慮する。 ・火の取り扱い等、安全面に十分気をつける。	埋文職員
11:15 (10分)	5 学習のふりかえり ・感想発表		担任

4 準備物等

学 校：パソコン、モニター、食材（どんぐりハンバーグ用）、調理器具、食器
 埋 文：説明資料、出土遺跡、食材（どんぐりハンバーグ用）